



令和 4 年度 大阪狭山市水循環協議会(第 3 回) 説明資料



令和 4 年 1 1 月 2 日(水)





1 大阪狭山市水循環計画（素案）について

（1）第2回協議会までの意見整理

（2）計画書（素案）

1. 計画の基本的事項
2. 大阪狭山市の水循環の現状と課題
3. 未来の姿と計画の目標
4. 施策について
5. 計画推進のための取り組み

2 報告

（1）大阪狭山市の水についてのクイズ&アンケート結果



1 大阪狭山市水循環計画（素案）について

(1) 第2回協議会までの意見整理

(2) 計画書（素案）

1. 計画の基本的事項
2. 大阪狭山市の水循環の現状と課題
3. 未来の姿と計画の目標
4. 施策について
5. 計画推進のための取り組み

2 報告

(1) 大阪狭山市の水についてのクイズ&アンケート結果

【目 次（案）】

1. 計画の基本的事項

2. 大阪狭山市の水循環の 現状と課題

3. 未来の姿と 計画の目標

4. 施策について

5. 計画推進のための 取り組み

8/1
第1回
協議会



・計画策定の趣旨、計画の位置付けを設定した。
→本市の特徴であるため池などの**水を活かして、
よりよいまちづくり**を行う。



・本市の現状を、第1回、第2回協議会で確認した。



・未来の姿について**3つの柱**を
作成



市民アンケートの
意見を考慮して
今後決定

8/29
第2回
協議会



・施策について意見をもとに
8つの施策を作成



施策事業アンケート
の意見を考慮して
今後決定



・継続的に計画を推進していくための
推進体制を検討



1 大阪狭山市水循環計画（素案）について

(1) 第2回協議会までの意見整理

(2) 計画書（素案）

1. 計画の基本的事項
2. 大阪狭山市の水循環の現状と課題
3. 未来の姿と計画の目標
4. 施策について
5. 計画推進のための取り組み

2 報告（P.9記載事項）

(1) 大阪狭山市の水についてのクイズ&アンケート結果



(2) 計画書 (素案)

P.6

計画目次 (案)

※今後審議が必要な事項

- 1 基本事項、2 現状と課題、3 未来の姿と目標、4 施策、5 推進体制の5つの章で構成

計画目次 (案)

1 計画の基本的事項

- 1.1 計画策定の趣旨
- 1.2 計画の位置付け

・流域の特性や既存の他の計画等との関係

2 大阪狭山市の水循環の現状と課題

- 2.1 大阪狭山市における水循環の現状
- 2.2 水循環をとりまく環境
- 2.3 大阪狭山市の水循環の課題と特徴

・流域の課題設定
・流域の特性や既存の他の計画等との関係

3 未来の姿と計画の目標

- 3.1 未来の姿
- 3.2 3つの柱
- 3.3 8つの施策
- 3.4 計画の期間
- 3.5 計画の対象範囲

・流域の目標設定

4 施策について

- 4.1 施策の方向性
- 4.2 水循環施策

・目標を達成するための施策設定

5 計画推進のための取り組み

- 5.1 推進体制
- 5.2 進行管理

・計画を評価するプロセスの有無
・計画の進捗状況を表す指標

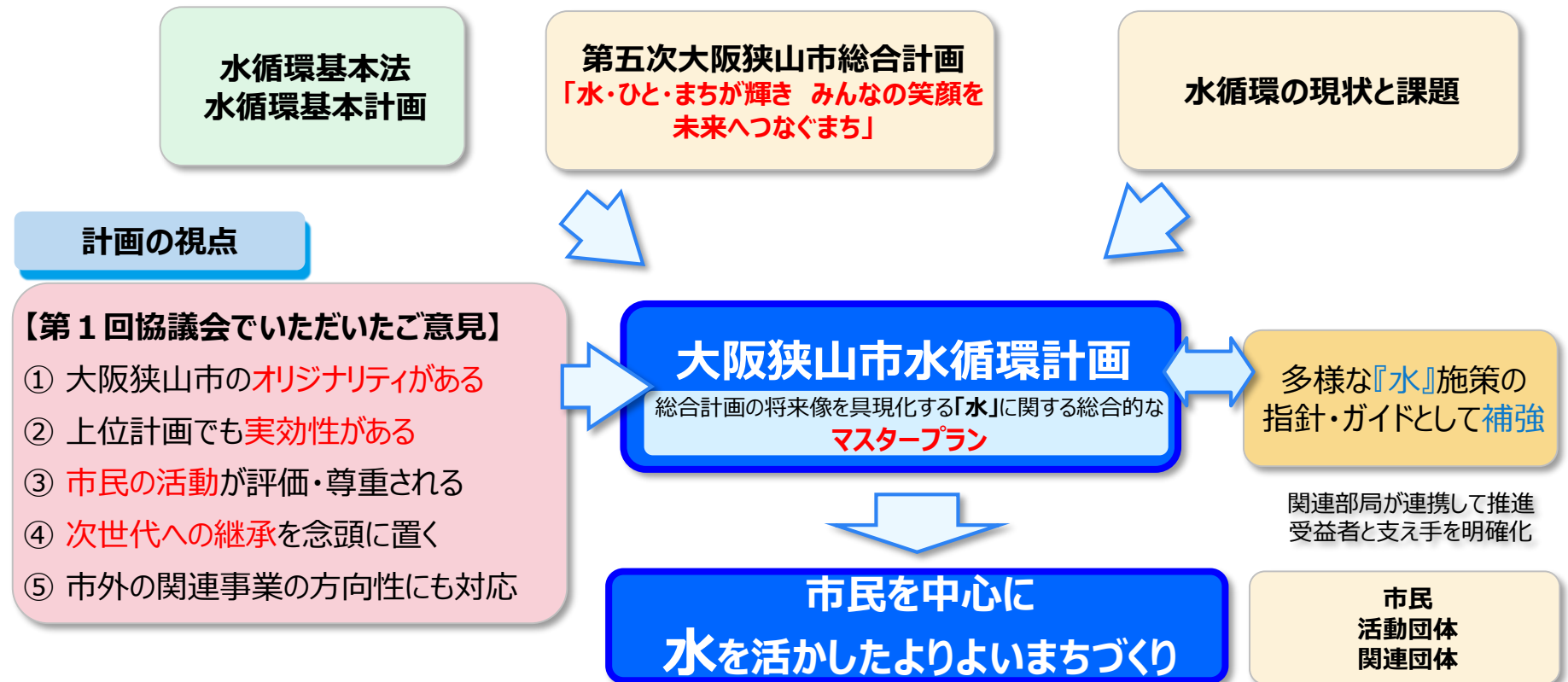
【以下は協議会やアンケートなどでの対応と位置付け】

- ・公的機関の計画策定への関与
- ・課題・目標・実施する施策の適切性
- ・地域住民等の意見の反映

1. 計画の基本的事項

P.7

- 第五次大阪狭山市総合計画の将来像を具現化する「水」に関する総合的な**マスタープラン**
 - 多様な関係者との協働を図るものとして、本計画を位置付け
- ➡ 大阪狭山市水循環計画の策定により、『水』をキーワードとしたまちづくりを推進します。



2. 大阪狭山市の水循環の現状と課題

P.8

- 本市の水インフラは複合的な機能を有するとともに、受益者・支え手との関係が複雑化している。
 - 支え手の課題は、営農者の減少や高齢化、財源不足が挙げられる。
- 市民を中心とした関係者（人）の関わり方の整理や、水資源の支え手支援を行うことが必要です。

2.1 大阪狭山市における水循環の現状

治水、利水、水収支、ため池の現状

- ・**治水**：河川、狭山池ダム、ため池、公共下水道（雨水）
- ・**利水**：河川・上水道、狭山池・ため池、地下水・井戸水、下水道（汚水）
- ・水収支：過去と現在の水収支計算結果
- ・ため池：113箇所の調査結果

2.2 水循環を取り巻く環境

少子高齢化と人口減少、産業、土地利用状況、気候変動、地形・地質

- ・少子高齢化・人口減少：人口推移
- ・産業：年代別の産業の推移
- ・土地利用：年代別の土地利用状況
- ・気候変動：降水量、気温
- ・地形・地質：地盤高

2.3 大阪狭山市の水循環の課題と特徴

現状から課題と特徴を整理

【課題】

- ・**営農者の高齢化**
- ・ため池を管理する**財源問題**
- ・**近くにある水辺が遠い水**
- ・水を**保全する人が限定的**

【特徴】⇒「**水**」をアピール

- ・豊富なため池の数と歴史
- ・枯れることがない井戸水
- ・災害が少ない

安全

狭山池や河川の整備は、行政がするだろう

対象が大規模なので**他人事**になりがちな領域

「近くて遠い水」問題

対象が身近で小規模だが、**自ら管理者でない**。
安全の視点から**他人事**になりがちな領域

身近なため池や水路は、
管理者が整備してるだろう

快適

関連
イン
フラ

治水（外水）

法定河川・
治水ダム（狭山池）

治水（内水）

下水道（雨水）・
ため池・農業用水路など

利 水

上下水道・ため池・
農業用水路・井戸など

親 水

左記＋関連施設全て

2. 大阪狭山市の水循環の現状と課題

P.9

大阪狭山市の水についてのクイズ&アンケート結果

- 大阪狭山市で「水」といえば、「池の水」を思い浮かべる人が多い。（回答率：78%）
 - 水を守る行動では、身近で小さな節水と美化活動ができると思う人が多い。
- ため池は本市の特徴です。また、水を守るためには、清掃などの身近な活動が期待がされます。

市民アンケート結果

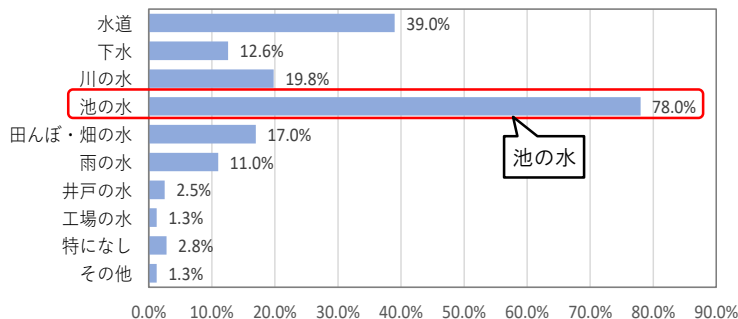
・大阪狭山市の「水」といえば、大多数（78%）の人がため池の回答を選択した。

→大阪狭山市の特徴は、**ため池**といえる。

問5	回答	回答数	割合
大阪狭山市で「水」といえば、何を思い浮かべますか。当てはまるものをすべて選んでください。	水道	124	39.0%
	下水道	40	12.6%
	川の水	63	19.8%
	池の水	248	78.0%
	田んぼ・畑の水	54	17.0%
	雨の水	35	11.0%
	井戸の水	8	2.5%
	工場の水	4	1.3%
	特になし	9	2.8%
	その他	4	1.3%

※割合は回答数/回答者数

問5 大阪狭山市で「水」といえば、何を思い浮かべますか。当てはまるものすべてを選んでください。有効回答者数:335人

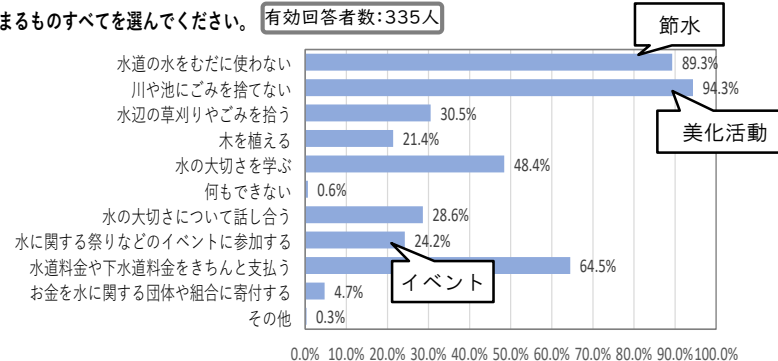


- ・水を守る行動といえば、ほぼ全員（約90%）が節水と、美化活動の回答を選択した。
 - ・水に関するイベントに参加する回答は少数（24%）であった。
- 身近なごみ拾いはするが、イベントなど規模が大きくなると活動に躊躇するまたは有効なイベントと捉えていないといえる。

問10	回答	回答数	割合
「水」を守るために、あなたはどのようなことができると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。	水道の水をむだに使わない	284	89.3%
	川や池にごみを捨てない	300	94.3%
	水辺の草刈りやごみを拾う	97	30.5%
	木を植える	68	21.4%
	水の大切さを学ぶ	154	48.4%
	何もできない	2	0.6%
	水の大切さについて話合う	91	28.6%
	水に関する祭りなどのイベントに参加する	77	24.2%
	水道料金や下水道料金をきちんと払う	205	64.5%
	お金を水に関する団体や組合に寄付する	15	4.7%
	その他	1	0.3%

※割合は回答数/回答者数

問10 「水」を守るために、あなたはどのようなことができると思いますか。当てはまるものすべてを選んでください。有効回答者数:335人





3. 未来の姿と計画の目標

P.10

3.1 未来の姿

- 求められる未来の姿①：災害を抑え、水と緑に囲まれながら、市民が生涯豊かな人生を送ることができる
- 求められる未来の姿②：豊富な水資源の複合的な活用を行い、安全・安心で健康に生活できる

未来の姿



～災害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち～

【未来の姿の意図】

- 「災害が少なく」 → 流域治水やため池の治水機能の活用により、災害時にも人命・財産が守られ、被害を最小限に抑えることができる。
- 「豊かな水とみどり」 → 流域特性に応じた水量・水質が保たれ、美しい水環境と生態系が守られている。
良質な水の供給を始めとして地下水を含めた様々な形でいつでも水の恵みを享受できる。
- 「にぎわいのあるまち」 → 人と人がコミュニケーションを取り合い、日常生活が楽しさで満ち溢れ、生涯、安心して豊かな人生を送ることができる。



3. 未来の姿と計画の目標

P.11

3.2 3つの柱

- 水から「**守る**」、水を「**活かす**」、水を「**育む**」の3つの柱を設定
 - 3つの柱をもとに、各施策を展開
- ➡ 施策が目標と紐づくように設定することで、わかりやすい計画を策定

<3つの柱>

【水から守る】

災害への対策を強化します

- ・災害への対策を強化し、将来にわたり、災害に強い街を築きます。
- ・気候変動による降雨量の増加に対応するため、市街地のみならず、流域のあらゆる既存施設を活用します。
- ・流域のあらゆる関係者との協働により、流域全体で総合的な対策を実施します。

【水を活かす】

水資源を活かした地域振興を図ります

- ・狭山池をはじめとした、本市が持つ水資源を農業や防災など様々な用途で活用します。
- ・水辺空間を活用した賑わいの創出や地域活動の活発化を図ります。
- ・水資源は、1つの機能だけでなく、複合的な機能を持つことから、水関連施設の機能を明確化します。
- ・生態系を保全し、自然と調和した景観を創出します。

【水を育む】

次世代に引き継ぐための活動を行います

- ・市民が主体的に水環境と社会を捉え、水について何ができるかを考え、行動する力を育みます。
- ・本市が持つ豊富な水資源は、多数の人の育みにより成り立っていることを伝えます。
- ・現代の様々な要因により、水循環のバランスが崩れる可能性があることを次世代に伝えます。

3. 未来の姿と計画の目標

P.12

3.3 8つの施策

- 水から「守る」、水を「活かす」、水を「育む」の3つの柱を軸に施策を実施
 - 水インフラに期待する機能を大きく8つに分類
- 水インフラに期待される多様な機能から「3つの柱」を軸とし、これを支える「8つの施策」を設定

【未来の姿】

○○ ○○ ○○ ○○
～災害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち～

【3つの柱】

【水から守る】

【水を活かす】

【水を育む】

【8つの施策（案）】

治水

上下流域や様々な要素を一体に捉える流域治水により、効果的に浸水被害を低減します

利水

豊富で多様な水源を飲料・農業・防火用など複合的に活用し、安心・安全につなげます

教育

健全な水循環の重要性について理解と関心を深めるために、水循環に関する教育を推進します

広報

幅広い関係者が、水循環活動に参加しやすくなるように、広報・周知の充実に努めます

生態系

身近な水辺の生態系をまちづくりにも取り入れ、生物多様性の保全と両立します

景観

身近なため池や水路、河川の魅力を再認識しながら、快適な水辺景観を創出します

観光

狭山池や農産物など本市の水を活かした観光を通じて、まちの魅力をPRします

コミュニティ

水関連イベントや市民農園など、水辺空間を活かした賑わいの場を創出します

3. 未来の姿と計画の目標

P.13

3.4 計画期間

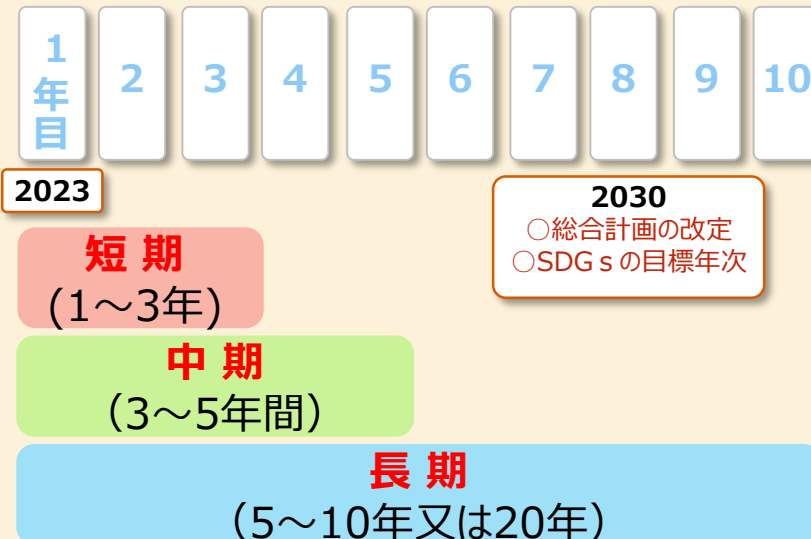
※今後審議が必要な事項

- 水循環計画全体の計画期間は定めない。
- 施策ごとに短期、中期、長期を設定する。

計画期間（案）

【計画期間の考え方】

計画全体の計画期間は定めず、具体的施策ごとに実施期間を短期・中期・長期の3段階に分類



・短期計画（3 か年）

- ① 現在実施中の施策
- ② 早急に対応が必要な施策
例) 浸水対策整備

・中期計画（3～5 か年）

- ① 計画的に実施する施策
- ② 課題の整理や地域の合意形成等から事業化には一定の時間を要する施策
例) ため池対策の運用

・長期計画（5～10 か年）

- ① 長期的な視点で取り組む施策
- ② 課題等の整理や合意形成には長期の期間を要する施策
例) 次世代の育成・啓発活動

3. 未来の姿と計画の目標

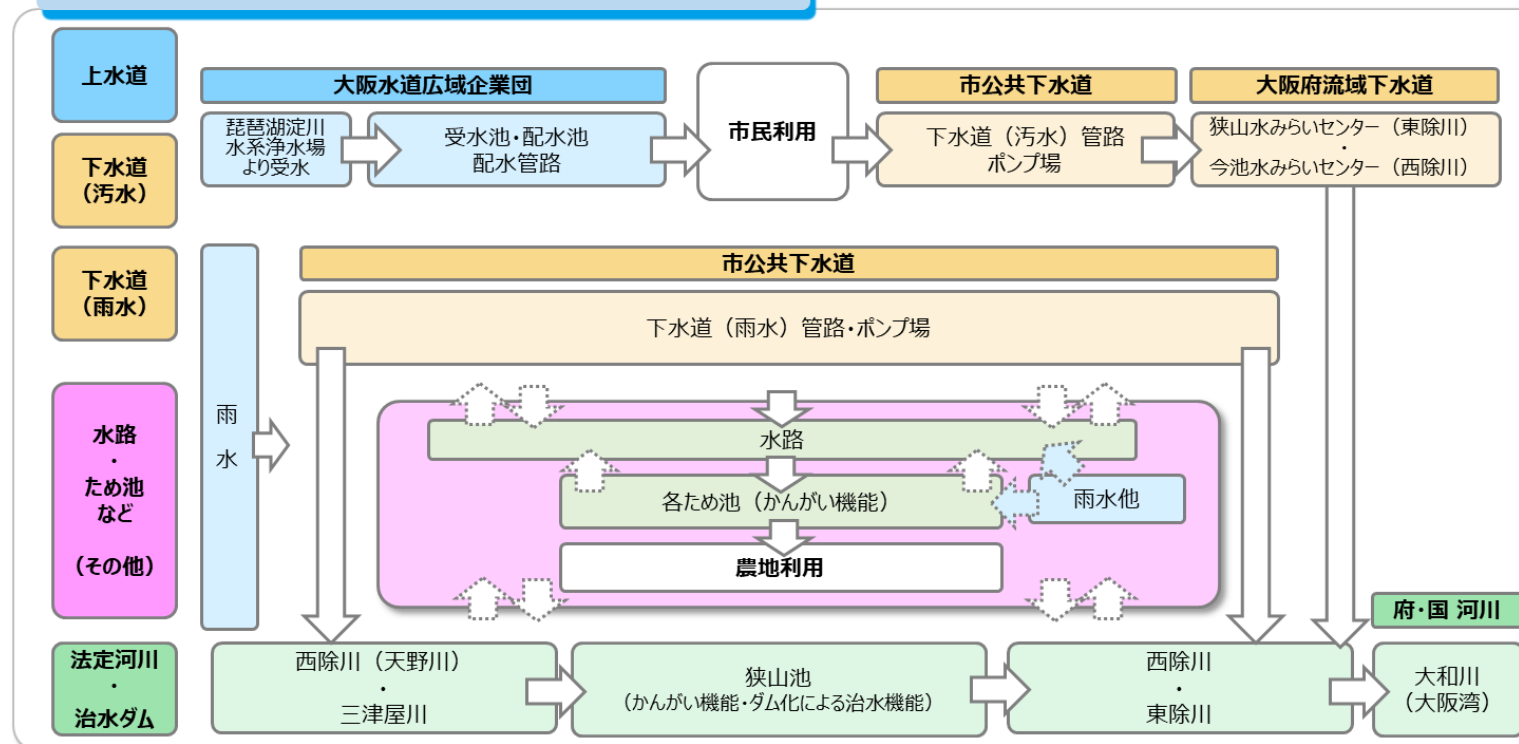
P.14

3.5 計画の対象範囲

※今後審議が必要な事項

- 計画の対象範囲は、大阪狭山市の「水」の要素全体とする。
- 計画の対象流域は、大阪狭山市域とする。

大阪狭山市における流域水循環の模式図（左から右へ）





4. 施策について

P.15

- 8つの施策ごとに、既に実施している施策、今後実施する施策、アイデア段階の施策などを整理する。
- 施策アンケートをもとに関係団体・関係部署の施策を抽出・整理する。

【8つの施策（案）】

治水

- 施策例
- ・流出抑制対策の拡大
 - ・洪水対策
 - ・ため池の治水活用に向けた取り組み

利水

- 施策例
- ・ため池や河川の水質改善
 - ・農業用水以外へのさらなる活用
 - ・下水処理水の活用

教育

- 施策例
- ・水に関する学校教育活動
 - ・狭山池博物館の利用促進

広報

- 施策例
- ・SNSを利用したイベント紹介・開催
 - ・水循環ポスターの掲示

生態系

- 施策例
- ・河川やため池の清掃
 - ・環境保全による生態系の保護

景観

- 施策例
- ・景観に配慮した水辺整備
 - ・四季を感じる水辺空間の創出

観光

- 施策例
- ・本市の特徴を活かした観光サービス
 - ・観光農園体験サービス

コミュニティ

- 施策例
- ・ため池廃止後の農園利用
 - ・ため池ウォークラリー

5.1 推進体制

※今後審議が必要な事項

- 施策毎に進捗指標を設定し、水循環協議会で定期的に状況を確認
- 水循環協議会を中心とした体制で、必要な場合は計画の見直しを実施

推進体制

流域の水循環に関わる国・府・市の公的機関や事業者、関連団体、民間、有識者を含めた推進体制とします。



【施策カルテ】

3つの柱	「水から守る」			SDGs					
8つの施策	治水								
施策概要	上下流域を一体とする流域治水により、浸水被害減少や水害防止を図ります。								
課題認識	近年の異常気象により、大雨による被害が頻発している。大阪狭山市では、浸水被害が起きるなど被害が起きている。								
目指す姿	市民の命と財産を守り、災害に強いまちを作ります。								
受益者	住民	団体	事業者	市役所	府庁	国	来訪者	その他	
負担者	住民	団体	事業者	市役所	府庁	国	来訪者	その他	
項目	活動		関連施設	実施主体	関連団体	関連計画	時期	評価指標	成果
取り組み	ため池の治水利用		ため池	市役所	住民・水利組合		短期		
	低水位管理による治水容量の確保		ため池	各管理者			短期		
	河川改修の促進		河川	大阪府		大和川流域西陵川ブロック	中期		
	流域治水の促進		河川	市役所			長期		

5. 計画推進のための取り組み

P.17

5.2 進行管理

※今後審議が必要な事項

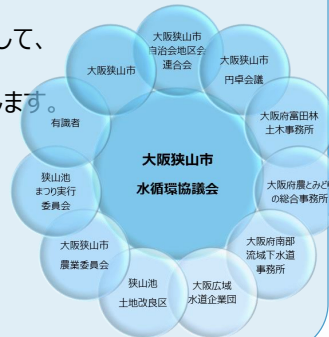
- 計画を継続的に実施するために水循環協議会を中心にPDCAサイクルを実施
 - 水循環協議会を年1回開催し、施策の進捗状況を確認、結果を公表
- ➡ 多様な関係者が協働し、継続的改善を進めることにより、次世代へ継承する枠組みとします。

Plan 計画の策定

様々な関連団体が参画している水循環協議会を核として、水循環計画を策定します。

誰が、いつ、何をするかを示した具体的な施策を設定します。

- ・関係者が一体で活動している状態が「**未来の姿**」
- ・計画による活動全体の考え方が「**3つの柱**」
- ・各施策の考え方が「**8つの施策**」
- ・未来の姿を実現するために「**施策**」を設定



Action 計画の改善

施策の進捗状況の把握・分析などに基づき、必要に応じて、新たな目的や目標を設定し、計画の改善を図ります。

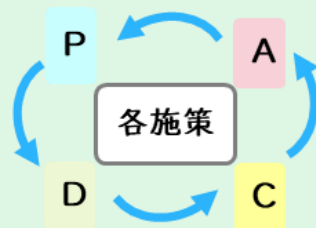
- ・水辺が持つ機能の継続的見直し
- ・住民アンケートの実施
- ・事業者からの改善提案
- ・関連計画の見直し
- ・財源の見直し
- ・人材や管理体制の見直し



Do 計画の実施

市民参加を積極的に促進しながら、市民・事業者・行政が協働して取り組みます。計画のPDCAサイクルに加えて、各施策ごとにPDCAサイクルを実施します。

- 策定した計画を踏まえ、3つの柱を軸とした施策を実施
- ・水を「活かす」：水関連施設の機能を明確化
 - ・水と「育む」：次世代に引き継ぐための教育を実施
 - ・水から「守る」：災害への対策を強化



Check 計画の効果の評価

指標に基づいて、施策の目標と達成結果を照らし合わせ、各施策の達成状況を把握します。

- ・施策ごとに目標（定性指標）を設定
- ・施策ごとの継続的評価
- ・施策の進捗状況を支え手に確認
- ・施策の満足度を受益者に確認

